

おかげさまでブログも5周年!!

白浪時報

2010年  
(平成22年)  
7月14日  
水曜日  
白浪時報  
号外

弁天小僧  
お姫さまと  
恋の逃避行!  
3面

白浪五人男とは、河竹黙阿弥が文久二(一八六二)年三月に、市村座のために書き下ろした新作歌舞伎『青砥稿花紅彩画』あおとぞつしは『なにしきえ』に登場する盗賊のことで、メンバーは盗賊の首領(リーダー)である日本駄右衛門、女装の怪盗・弁天小僧、神出鬼没の盗賊・忠信利平、最年少の盗賊・赤星十三郎、元漁師の船強盗・南郷力丸の五人である。



南郷力丸 赤星十三郎 忠信利平 弁天小僧 菊之助 日本駄右衛門  
白浪五人男・稲瀬川堤勢揃いの図



水も滴るいい男が勢揃い♪

白浪とは？

かわたけ もくあみ

【河竹黙阿弥】(一八一六〜九三)幕末・明治時代の歌舞伎脚本家。世話物・白浪物を得意としたことから、「白浪作者」と呼ばれた。

作品は時代物や散切物、新舞踊劇など多岐に渡る。生涯に発表した作品は三六〇種ほど。代表作は『三人吉』、『青砥稿花紅彩画』など。

ちなみに、「白浪」とは「盗賊」のこと、その昔、中国の山西省の白波谷(はくろうこく)に、張角と言う盗賊がいて、彼らのことを「白浪賊」と呼んだことに由来する。

桜の花が満開の頃、とある令嬢が失踪した。彼女は父の三回忌と、すでに病死したという噂の許嫁のために、初瀬寺で法要した後、どうやら「婚約者」と称する男と駆け落ちしたらしい。

失踪の真相はお家騒動？

お付きの侍女の話によると、称・婚約者は、かなり美形の若い男だとか。男は女心をかなり熟知しているらしく、わざと冷たい素

振り、ウブな姫の気を引き、まんまと茶屋でコトに及んだらしい。彼女の失踪と同時に、家臣が狙っていた家宝の「胡蝶の香合」もなくなっていることから、これは単なる駆け落ち話ではなさそうだ。純情可憐な姫の身が心配である。

不定期更新中!

白浪五人男ブログ

<http://srnm5men.seesaa.net/>

ポン太の  
つぶやき

お陰さまで、白浪五人男ブログは今年(二〇一〇年)で五周年となりました。また今年にはミニコミ活動一五周年という、私にとつて節目の年でもあります。

ミニコミもブログも、好き勝手なことを放言しているにも拘らず、これまでブログ炎上や、閉鎖の憂き目に遭わなかったのは、ひとえに(ブログ訪問者も含む)読者の大半の方が、温厚で寛大なお人柄だった、という幸運に恵まれていたからだ、感謝しております。

ブログやHPは運営していても、表題の「つぶやき」に反して、話題のツイッターには手を出していません。お手軽な半面、調子に乗って余計な発言までしてしまふようなのが、怖いのです。そもそも私は人見知り、が激しいので、これ以上「敵」を作りたくないのです。

たとえ悪気はなくても、「悪意」と受け止められることもあるし、一旦、発言したものを訂正・取り消すことは、とても大変です。やはり言葉は、よく考えてから発言したいものです。